

ノロウイルスによる胃腸炎が流行しています

内科部長 佐々木 亨

ノロウイルスの感染は、ほとんどが経口感染（口から体内に入り感染する）であり、次のような感染経路があると考えられています。

- ①感染者のウイルスが含まれる便や吐物などに直接、もしくはウイルスが付着した手すりや便座などに接触
- ②感染している食品取扱者が調理などを行い、その者を介して汚染した食品を摂取
- ③ウイルスに汚染された貝類（特に二枚貝）を、生あるいは十分に加熱調理しないで摂取
- ④ウイルスに汚染された井戸水や簡易水道を消毒不十分で摂取

潜伏期間（感染から発症までの時間）は24～48時間で、主症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛であり、発熱は軽度です。

通常であれば、症状が1～2日ほど続いた後、治癒します。後遺症ありません。感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状のみの場合もありますが、有効な抗ウイルス剤はなく、免疫力の低い乳幼児や高齢者は脱水症状を起こしたり、体力が消耗して重症になる場合があるので、水分と栄養の補給を充分に行いましょう。また、風疹や麻疹などと異なり、何度でも再感染する可能性がありますので、要注意です。

< 有 効 な 予 防 法 >

- ①食事の前やトイレの後などには、石鹸を使いしっかりと手を洗う
- ②タオルなど共用で使用するものを避ける
- ③下痢や嘔吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない
- ④食品には熱を通して食べる
※食品の中心温度85℃ 1分以上の加熱により、ウイルスの感染性がなくなります。
- ⑤便や吐物処理の際は素手で触らず、必ずビニール手袋を使用する
※汚物の消毒は、市販の塩素系消毒剤（漂白剤）を希釈したものを使用してください。熱湯をかけることも有効です。



クリスマスコンサートが開催されました！

12月13日（金）に成章小学校、成章中学校によるクリスマスコンサートが開催されました。

当日は14時30分より、病院ホールにて吹奏楽の演奏や合唱をおよそ100人の方々が楽しみました。入院患者の方々も多数聴きにきていただき、大変満足された様子でした。1時間ほどのコンサートでしたが楽しい時間をすごせました。

